



立教 SFR 重点領域プロジェクト研究・立教大学 ESD 研究所主催講演会

被災地に何をみるのか

—福島県浜通りの「観光」と「生活（ライフ）」—

日時 2014年10月12日(日) 13:30-16:30 (13:00開場)

ゲスト 里見喜生氏

いわき湯本温泉「古滝屋」若だんな、NPO 法人ふよう土 2100 理事長

金井直子氏

「福島原発避難者訴訟」原告団事務局長、福島県双葉郡楢葉町

原発事故避難と放射能汚染の現実とは、「災害と観光」をめぐる、これまでになかった課題をいくつももたらしました。

被災地としての「福島」を舞台に、「復興」や「防災」などさまざまな狙いをもつツアープログラムが百花繚乱となっているいま、

参加者に求められていることはなんでしょうか。異なるツアーの主催にかかわるゲストのお話から考えます。

会場 立教大学池袋キャンパス太刀川記念館 3階多目的ホール

主催：立教 SFR 重点領域プロジェクト研究「課題解決型シミュレーションによる ESD プログラムの研究開発」 / 立教大学 ESD 研究所

共催：関礼子ゼミナール（立教大学社会学部） / 大規模複合災害における自治体・コミュニティの減災機能に関する社会学的研究（2012-14 年度科学研究費補助金）

後援：水俣と福島をむすぶゆんたくグループ

※入場無料・事前予約不要！

お問い合わせ：立教 SFR 重点領域プロジェクト研究（友澤）03-3985-4031